

平成 20 年 7 月の苦情①

<b>苦情内容</b>
<b>申請日</b>
2009/7/9
<b>内容</b>
相談者の長男が、発達支援の相談対象児になっていたことで、その指導内容がうまく保護者に伝えられなく、その件について相談者と園側との意識を近づけ、児童への最善の利益を得られるよう支援する為に、話し合いを持つ。
<b>要望</b>
今後、どのようにしていったら、いいのか。
<b>第三者委員会への報告の要否</b>
否
<b>苦情申出人と苦情解決責任者の話し合いへの第三者委員への助言、立ち合いの要否</b>
否

<b>解決・改善</b>
<b>解決日</b>
2009/7/27
<b>経過、結果</b>
相談者から、園に対しての希望する事や、今後どのようにしていきたいかを聞き、保護者の思いを理解しながら、児童にとってどうすることが一番よいのかを日頃から、保護者と連携をとることにより実施していくようにする。 今回、保護者に来園していただき園長、担任交えての話し合いを持てた事は、保護者の思いを知る良い機会となった。児童に一番近い保護者、園(担任)とが十分な信頼関係を持ち、本児の育ちの支援をしていけるよう今後も努めていきたい。 本児の対応については、職員間でのカンファレンスをしばしばおこなう中で、園全体での支援を心掛けたいと思っている。